

## 能登 いまい農場だより 12月号

お買い上げ頂き、ありがとうございます。

早くも師走となりました。今年を振り返ると、天候に振り回された1年だった気がします。冬は厳冬で水道管の破裂騒ぎ、梅雨明けが早く、夏の猛暑で田んぼの水回りに苦勞し、8月下旬は過去最大の大雨に、収穫時も雨にたたられ、なにやら水との格闘の年でした。

皆様、如何お過ごしでしょうか？

### ■NHK BSプレミアム 「ニッポンの里山」で、すこし紹介されることになりました

当農場の取引先に奥能登・能登町で、超有名な民宿「ふらっと」さんがあります。

ご主人はオーストラリア出身のベンさん、奥さんの智香子さんと共に、地元食材を活かしたお料理でもてなされます。イタリアンが中心なのですが、朝食には当農場のお米を使ってもらっています。

そこからの依頼で、急遽東京からの撮影スタッフが訪れたのが5月下旬でした。その後6月、7月、8月と撮影に来ました。ベンさん智香子さん夫婦が当農場を訪れ、有機水田の生きものを採るという設定で撮影されました。ニホンイモリや、トノサマガエルなどといった絶滅危惧種を主体に撮影されましたが、なにせ10分間の番組、私も少しだけ写ると思うのですが、どう編集され放送されるか楽しみです。

ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅  
「命にぎわう農家民宿の里 石川県 能登町」

BS4K	本放送	12月8日 (土)	8:50~9:00
	再放送	12月9日 (日)	22:50~23:00
<u>BSプレミアム</u>	<u>本放送</u>	<u>12月10日 (月)</u>	<u>7:00~7:10</u>

御時間がありましたらご覧ください。

裏面につづく

## ■集落神社の新嘗祭(だいこん祭り)と、どぶろく



12月1日、今年最後の小田中地区の神社のお祭り、白久志山御祖神社の新嘗祭が執りおこなわれました。

俗に、だいこん祭りと言って集落の人が大根を持ち寄って、祭壇に飾り、お祭りします。その後、直会(なおらい)をするのですが、中能登町は3つの神社が国税局から、どぶろく

造りが認められていて、地域おこしにも、どぶろくを使った商品が開発されようとしています。直会には、イセヒカリ(水稻品種)を使って造られたどぶろく1升が神社から提供されました。ちなみに、このどぶろくは、伊勢神宮に奉納されるとか。

今年のどぶろくは飲みやすく感じました。飲んべえ?の私には後で胃の中で発酵するぞと思いつつ、加減しながら飲んだつもりでしたが、家路につく頃はほろ酔い気分。いつもの年と違い、どぶろくはその場で無くなってしまいました。

## ■冬場は土地改良と土づくり

8月下旬の大雨で、小田中地区の水田の排水路は一部、山からの砂で埋められました。11月の中旬にコンボや運搬車を使い、2tトラックで搬出。客土用にと希望者の水田に山砂を募ったのですが、その台数100台以上になりました。実際搬出してみると、2・30台分が余計に出て、いかに山からの土砂の流出が、すごかったか分かります。余計なことですが、小田中地内の久江川(邑知瀧に注ぐ2級河川、長曾川の支流)にも、長い距離で土砂が1.5メートル余り堆積し、護岸のブロック壁が隠れるほどになっています。こちらは、県の管轄であり、早急に搬出をお願いしているところです。

水田の泥深い所に粗めの山砂を入れると、1年目は苦勞するのですが、2年目以降、砂が沈んで耕盤が形成され、トラクターや田植機での作業がスムーズに行われるのです。

私たちの地域は邑知地溝帯と呼ばれ、大昔は海だったところです。膝までつかる所もあり、作業効率を向上させるため、山砂は廃棄せず、田んぼの客土として利用します。

稲わらも、この時期、全量すきこみで、田んぼに還元し、土づくりとします。30年近くそうやって還元しているのですが、水田の土壌分析をすると、腐植分はまだ、不足しているという結果になっています。

## ■今年一年のご愛顧に感謝申し上げます。

年末に向け、慌ただしくなりますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。